

子育てや子どもに関する教育について

学校のアレルギー対策は？

札幌ならではの教育が大切



本多さん(30歳)
代) アトピー

と卵アレルギーの子どもがいるのですが、小中学校給食のアレルギーへの対策はどのようになっているのでしょうか。



花田さん(50歳)
代) 緑が豊か

で文化的な環境を生かした、オリジナルの発想力を高める札幌ならではの教育が大切だと思います。

上田市長 私も大賛成です。札幌市の教育目標にある読書・環境・雪という三つの視点は発想力の基本になると思います。人とのコミュニケーション能力を鍛え、大人になっても自分で学んでいく力を大事にしていこうと頑張っています。



中山さん(60歳)
代) 札幌は素

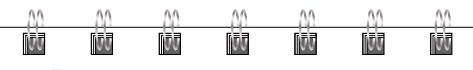
晴らしいまちななっていると思いますが、庶民に根付いた文化に根付いた文化というものがどうも見られないと思います。ヨーロッパのように公共・文化の意識が根付いた、本当の文化、大人のまちなという理想を描いて近づけていく意識を行政に持つてほしいと思います。

か。渡部前副市長 アレルギーに関してはいろろな意見があります。100%安全、リスクゼロということはありませんが、学校の給食に関しては個別にきちっと対策をしていますので心配なさらないかと思っています。

上田市長 私は5代目の札幌市長として「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」という理念を掲げ、前の世代がつくってきたものを有効に活用し、多くの方々に文化的な共感が生まれるまちなにしていこうと呼び掛けています。札幌のまちは本当にいろいろなことをやっていますので、それらの活動が100年続けば、ヨーロッパに負けないまちなになるのではないかと思います。共に夢を語らせていただきたいと思います。

中山さん(60歳) 札幌は素晴らしいまちななっていると思いますが、庶民に根付いた文化に根付いた文化というものがどうも見られないと思います。ヨーロッパのように公共・文化の意識が根付いた、本当の文化、大人のまちなという理想を描いて近づけていく意識を行政に持つてほしいと思います。

上田市長 私は5代目の札幌市長として「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」という理念を掲げ、前の世代がつくってきたものを有効に活用し、多くの方々に文化的な共感が生まれるまちなにしていこうと呼び掛けています。札幌のまちは本当にいろいろなことをやっていますので、それらの活動が100年続けば、ヨーロッパに負けないまちなになるのではないかと思います。共に夢を語らせていただきたいと思います。



～「ふらっとホーム」に参加して～

土屋さん 広報誌に掲載されている研修会などに出るようにしてさらに自己啓発し、いろいろな人に伝えていきたいと思っています。

中村さん 広報誌を見ていてもなかなか分からないことが分かったことがよかったな、安心できるなと思いました。

石川さん 今回も話のあった孤独死や生活保護の問題を踏まえ、いろいろな相談に乗る札幌型の「共生委員」をつくったらよいのではないのでしょうか。

高橋さん 参加してよかったです。西老人福祉センターの職員の対応がとてもよいとお伝えて、満足して帰ります。

遠藤さん 福祉の活動が札幌市はこんなに充実している、ということを私からも発信していこうと思いました。

本多さん アレルギーの問題では世代のギャップを感じましたが、勉強を重ねて訴えられることは訴えていきたいと思っています。

花田さん 札幌市の短い歴史の中で、箱物をつくったり道路整備をしてきたという一つの歴史の流れを感じられたのがよかったです。

中山さん 行政に携わるのは大変なことだと思いますが、今後も頑張っていて立派なまちなにしていきたいと思っています。



旭山記念公園から望む中央区の街並み
100年後はどのような姿でしょうか。

記事に関するお問い合わせ

総務企画課広聴係

☎ (205) 32116 FAX (231) 6539
「ふらっとホーム」に

関するお問い合わせ

☎ 市長政策室市民の声を聞く課
(211) 2045 FAX (218) 5165

司会の沖館さんから皆さんへ

毎年、皆さんのまちづくりに関する真剣なご意見を聞いて非常に刺激を受けておりまして、とても楽しみにしています。

日頃の考えを直接市長に話すことのできるめったにない機会ですので、もしお手元にご案内が届きましたらぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。

おきだてようこ
沖館葉子さん：フリーパーソナリティー。中央区ふらっとホームの司会を前身のタウントークから通算5回担当。



全員で記念撮影。ご参加ありがとうございました。